

# シンポジウム 『東日本大震災と人間科学』

人間科学は、東日本大震災に何ができるか？  
震災1年を振り返り、今後の復興と支援を考える

[実行委員長:辻内 琢也/事務局長:加瀬裕子]

[研究発表]10:00~11:35

佐野友紀「被災地の現状報告」

竹中晃二「被災地の子どもを対象とした  
メンタルヘルス・プロモーション」

Dr. Sheila Rauch (ミシガン大学)  
「災害生存者のメンタルヘルス」

指定討論:熊野宏昭

[ポスターセッション]11:35~13:00

[シンポジウム]13:00~17:00

若林直子「東日本大震災で気づかされたこと」

佐藤将之「被災地のこどもたちの環境を再建する」

根ヶ山光一「かささぎプロジェクトによる

避難家族の支援」

辻内琢也「原発難民への長期的支援を考える」

Dr. Peter Tuerk (南カロライナ医科大学)「ハリケーン  
災害時のメンタルヘルスとIT電話による支援」

[ディスカッション]

指定討論者:菅野純、小島隆矢

2012年3月16日(金)

於:早稲田国際会議場 (無料・申し込み不要)

主催:早稲田大学人間総合研究センター

早稲田大学人間科学学術院「震災と人間科学ネットワーク」

共催:早稲田大学重点領域研究機構応用脳科学研究所

早稲田大学人間総合研究センター「健康福祉ネットワーク」

問合せ先:〒359-1192埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

シンポジウム事務局(増田):TEL/FAX:04-2947-7123 E-mail masuda309@aoni.waseda.jp